

令和7年度山口県立大学 国際文化学部国際文化学科 学校推薦型選抜（県内高校卒）「小論文」問題用紙（持ち帰り）

次の文章を読み、以下の問（問1、問2）に答えなさい。

英語の先生たちは、余りそういう話は聞きたくないかも知れませんが、自動翻訳（機械翻訳）が今すごい勢いで進化しています。文科省は、オーラル・コミュニケーションが必要だ、とにかく英語で話せなければダメだとさかんに言い立てていますが、そんな教育政策とは無関係に翻訳テクノロジーの方はどんどん進化している。

『中央公論』（2017年8月号）で自動翻訳の専門家のインタビューがありました。今の自動翻訳はこれまでとシステムが違って、ただ用例を溜め込むだけでなく、「ディープ・ラーニング」ができるようになって、これまでとはまったく別物になったらしい。

英語だと、今の自動翻訳が大体TOEIC600点ぐらいまでだけれども、数年のうちに800点になるそうです。記事の中で、自動翻訳の専門家が、だから、もう学校で英語を教える必要はなくなると言っていました。外交官とか通訳、翻訳とか、英語のニュアンスを精密に吟味する必要のある仕事では英語についての深い理解が必要だけれど、日常的なコミュニケーションについてはそんなものはもう要らない。だって、人間より機械の方が速く、正確になるから。英語の専門家は1%くらいいれば済む。後は機械に任せておけばいい、と。エンジニアらしい、いささか乱暴な議論でしたけれど、英語の先生たちはこの挑発的な発言に異論を立てる義務があると思います。小学生から英語を教える必要なんかないし、中学でも高校でも、特殊な職業をめざすもの以外には英語を教える必要がないと自動翻訳の専門家が言い切ってるんですから。

僕は毎年野沢温泉にスキーに行くのですが、今年も3月に野沢に行ったら、もう外国人ばかりでした。僕らが泊まった旅館も7、8割が外国の方でした。食堂に案内されたときに、座席表が外国名ばかりだったので、仲居さんに「大変ですね、英語で接客するんですか？」と訊いたら、「いいえ。私ら英語できませんから、全部 Google 翻訳です」とこともなげに答えられました。

僕はある禊の会に入っておりまして、ときどき禊の行に行くのですが、4月に行ったときは、ロシア人が団体で来ておりました。聞くと驚く方が多いと思いますが、ロシア人も神道の禊をやる人たちがいるんですよ。モスクワにも道場があるんですが、やっぱり本場の日本で本格的に修行したいという人たちが来ているのです。このときはロシアの人とベネズエラの人に来ておりました。道場は祝詞を唱えたり、座禅を組んだりという行をしているところですから、もともと外国人の参加なんか予測していないし、もちろん外国語が堪能な人が揃っているわけではない。

来たロシア人たちは英語もあまりわからないということで、どうやって意思疎通するんだろうと心配しておりましたら、道場長が、「これがあるから大丈夫」と言って、小さな機械を見せてくれました。POCKETALK という手のひらサイズの自動翻訳機械でした。まさに『ドラえもん』の「ほんやくコンニャク」でした。そこには55の言語が入っていて、ボタンを押して、日本語を言うと、外国語になって音声が出てくる。外国語音声を入力してもらくと、日本語の音声に訳される。さっそくロシア人たちとその機械で会話をしてみました。

－（中略）－

これまで英語をいよいよ勉強してきた「のび太」君のような子どもたちにとって「ほんやくコンニャク」はまさに夢の機械だったわけですが、それが今やSIMカード付きで、3万円台で手に入る。いずれ価格競争が起きて、「ほんやくコンニャク」がコンビニで電卓程度の価格で売られる時代も来るかも知れない。電卓が普及したせいで筆算や珠算の能力に対するニーズが失われたように、自動翻訳が日常的なものになってきたら、オーラル・コミュニケーション能力を身につける必要もなくなります。よく「町で外国人にいきなり道を尋ねられたときに英語ができないと困る」というようなことを英語学習の動機づけとして語る人がいますが、これからはポケットから出せば済むわけですね。

(4枚の2)(持ち帰り)

今の「ほんやくコンニャク」は、まだ一度に聴き取れるセンテンスが短いですが、技術的な改良はこれからもどんどん進み、いずれどこでどんな外国語で話しかけられても、日本語でスムーズに対話できるようになる。『スター・ウォーズ』にすべての宇宙の言語が話せる通訳ロボットC-3POというのが出てきますけれど、個人用のC-3POをみんなが連れて歩けるようになるようなものです。

(出典：内田 樹^{うちだ たつる}「AI時代の英語教育について」、『サル化する世界^か』、株式会社文藝春秋、2020年2月28日、第一刷、179～183頁より。出題の都合で、問題文の一部を改変した。)

問1 下線部「挑発的な発言」とは、どのような発言か、200字以内で説明しなさい。

問2 出題文が述べるように、AIが進化し、誰もが「ほんやくコンニャク」や「C-3PO」のような万能の翻訳機械を手にすることができるようになった場合、それでもあなたが外国語を学習する理由を400字以内で具体的に述べなさい。

令和7度山口県立大学 国際文化学部国際文化学科
学校推薦型選抜（県内高校卒）「小論文」出題意図と評価基準

出題採点委員

（1）出題意図

筆者は、出題文の箇所において、AIの進化によって、自動翻訳機械が急激に発展し、その結果、英語（外国語）のオーラル・コミュニケーション能力を身に付ける必要もなくなるという予測を述べている。

本問のねらいは、第一に、外国語学習が必要ではないという意見の内容を、文章の構成に従って読解する能力があるかを問い、第二に、外国語学習の真の意味での必要性を理解できているかを問うことを通じて、受験者が国内外における社会的・文化的諸問題に関する基礎的な知識・技能を有しているか、そして論理的に思考・判断し、さらに表現する力を有しているかどうかを評価することである。